

講師派遣活動報告

2008年8月29日 横浜市立緑園総合高校「シチズンシップ」授業

1) 講師：並木 正敏さん **テーマ**「見えない糸で繋がっていた私のサラリーマン人生…最後は海外勤務(マレーシア)」

横浜緑園総合高校は、旧岡津高校と和泉高校の普通高校2校が合併し、平成20年4月から総合高校として再出発した学校です。将来卒業生が社会を支えていけるような人材を育成したいという学校の方針に基づき、6名の講師が「シチズンシップ」をテーマに体験談や次世代の人達に役立つ講話を受け持ちました。私はマレーシアで勤務した経験に基づき「何故海外で働くようになったか」「それは自分の人生にどのような重みを持っているか」「海外勤務で得たもの」「海外で日本人として果たす役割や配慮すべきこと」等について話をさせてもらった。そして私が収録した東南アジアの歌謡曲のテープを聴いて貰い、それを土産においてきました。生徒と同席された先生方にも真剣に話を聞いて頂き、最後には立派な花束を贈られ、講師初体験に大変感動をおぼえました。



生徒感想

すごくためになる話だと思った。人の話に初めて聞き入った。モスレムなど初めて聞くことが沢山だったけれど、とてもわかりやすく、海外勤務に興味があった。暮らしは変わるし、一人だし、海外勤務なんて本当にいいこと無いって思っていたが、並木さんの話を聞いて、現地の文化や常識などをよく知ることが出来て、現地の友人が出来たり、日本では出来ない経験が沢山できる。海外勤務なんて自分には関係ないと思っていたが、将来には海外勤務が当たり前になっているかもしれないから、話を聞くことが出来て本当に良かった。

2) 講師：村田 禅さん

テーマ「優れた国際人になるには、優れた日本人であることが大切」



生徒感想

・日本の文化、歴史をよく学び、それらを語れるようにしよう、外国の文化に接したら、先ず理解し、日本文化との違いが分かったら、その違いには出来る限り寛容になろう、良き市民たるには自分の地域社会の歴史、行事を理解し参加しよう、皆の役に立つよう努めようなど、優れた良き日本人になるためには、日本のことをよく知った上で外国を知ろうと思った。

3) 講師：三橋 純子さん

テーマ「女性の生き方について…カナダで暮らして考えたこと」



生徒感想

・カナダの事なんて今まで全然知らなかった。私もカナダは「白人、金髪」って思っていたけど、移民の集まりだと知ってとてもビックリした。現地の人たちと一緒にボランティア活動をするのはなかなか難しいはずなのに、病院で働くのはすごいなあって思いました。外国で暮らすことはそれまでの生活様式が大きく変わることだなあと感じ、でももしも出来たならば、一度やってみる価値はあるなと思いました。

4) 講師：関 重承さん

テーマ「国が違うとルールも違う。ルールが大切な理由を経験をもとにお伝えしたい」



生徒感想

・ルールは宗教と深い関係があることが分かった。
・関さんの講演を聴いて、アフリカの人たちの宗教感覚や9億人のうちの4億人が1日100円の生活を強いられていることや日本は宗教的なこだわりがない国であることなど、日本との違いやアフリカのことを少し知ることが出来ました。ありがとうございました。

5) 講師：藤田 国幸さん

テーマ「自分で考える事の大切さ、責任と義務を自覚する事の大切さ、について」



生徒感想

・21世紀を背負って立つ世代である私たちは、もっと自分の国について知らなければいけないと思いました。自分たちが住んでいる国なのに、よく考えてみるとあまり自分の国を知っていません。本来持っている我が国の文化を大切にして、夢(目標)を持ち、努力をして自分を磨いて行きたいと思いました。

6) 講師：河野 通直さん

テーマ「大地震に直面、その時何をどうするか?…阪神大震災の実体験から」



生徒感想

・被災地の現状を知る希少な人物から話を聞いて参考になりました。被災地の復興活動はみんなの暖かさがないと成功しないと思いました。
・今回とても勉強になった。こんな時、自分ならどうすべきか、どう行動をおこしていくか、話を聞いて考えてみようと思いました。